

製品名: MICU1(Mix)マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM13895**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	MICU1
別名	Calcium uptake protein 1, mitochondrial; Atopy-related autoantigen CALC; ara CALC; Calcium-binding atopy-related autoantigen 1; allergen Hom s 4
遺伝子 ID	10367.0
SwissProt ID	Q9BPX6
免疫原	MICU1 の組み換えタンパク質

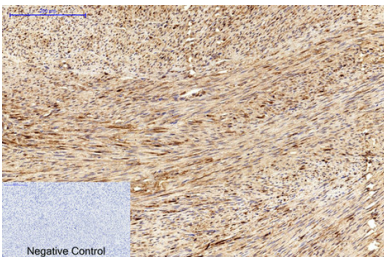
背景

この遺伝子は、基礎条件下でのミトコンドリア Ca²⁺取り込みの必須調節因子をコードしています。コードされているタンパク質は、ミトコンドリア内膜 Ca²⁺チャネルであるミトコンドリアカルシウムユニポーターと相互作用し、活性酸素種の過剰産生や細胞ストレスを引き起こす可能性のあるミトコンドリア Ca²⁺過負荷の防止に不可欠です。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2013年3月],アレルゲン：ヒトでアレルギー反応を引き起こします。アトピー性皮膚炎 (AD) 患者の IgE に結合します。重度の皮膚症状を示すアトピー性皮膚炎 (AD) 患者において IgE 自己抗原として同定されています。機能：IFN 放出を伴う T ヘルパー 1 を介した自己反応性を誘導します。配列注意：配列の汚染。N 末端部の由来不明の配列。類似性：2つの EF ハンドドメインを含む。組織特異性：上皮細胞株で発現。表皮ケラチノサイトおよび真皮内皮細胞で強く発現する。、

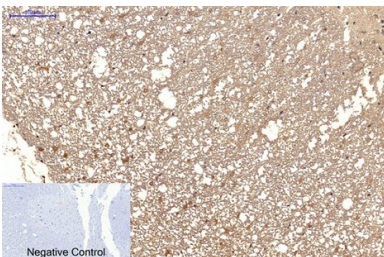
研究分野

-

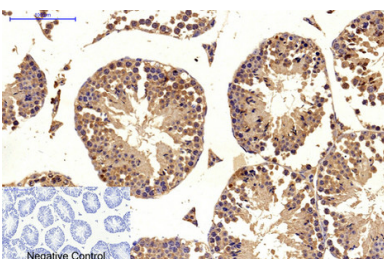
画像データ



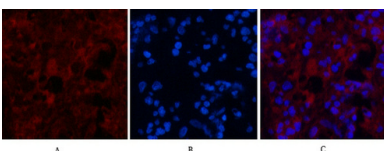
パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. MICU1 モノクローナル抗体 (Mix) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



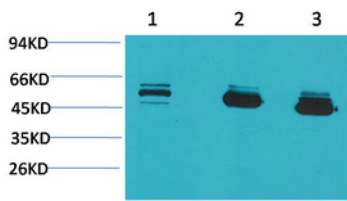
パラフィン包埋ラット脊髄組織の免疫組織化学染色。1. MICU1 モノクローナル抗体 (Mix) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



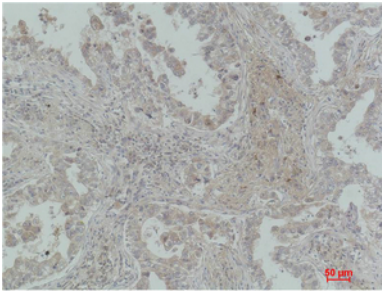
パラフィン包埋マウス精巣組織の免疫組織化学染色。1. MICU1 モノクローナル抗体 (Mix) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



ヒト虫垂組織の免疫蛍光染色。1, MICU1 モノクローナル抗体 (Mix) (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 写真 B: DAPI (青) 10 分。写真 A: ターゲット。写真 B: DAPI。写真 C: A+B の混合液。



MICU1 モノクローナル抗体を用いた1) MCF7、2) マウス脳組織、3) ラット脳組織のウエスタンブロット解析。



MICU1 モノクローナル抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。